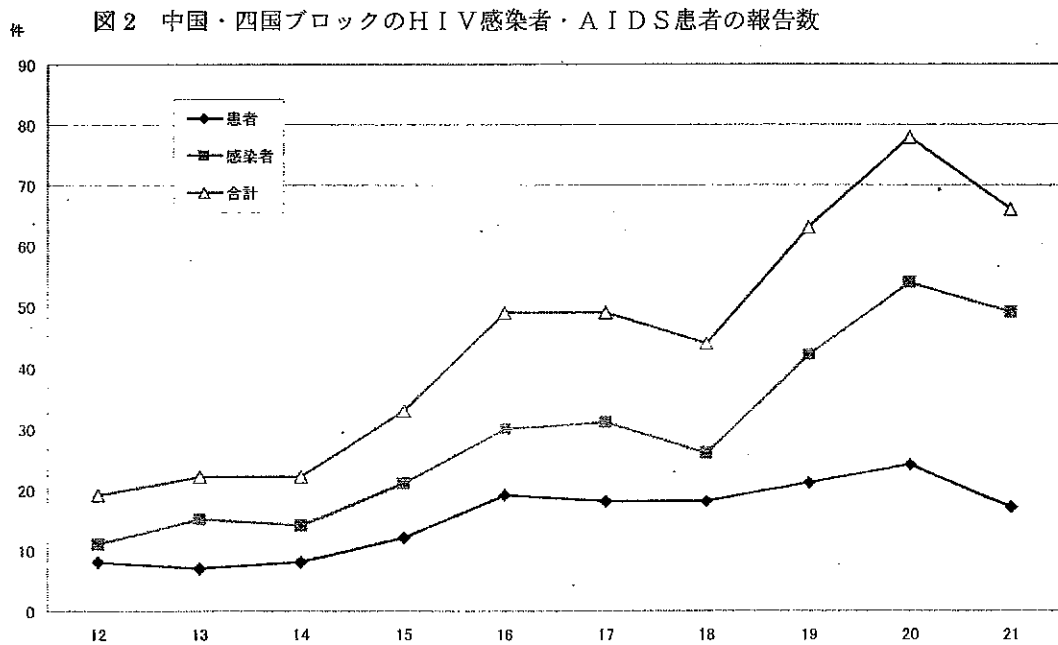
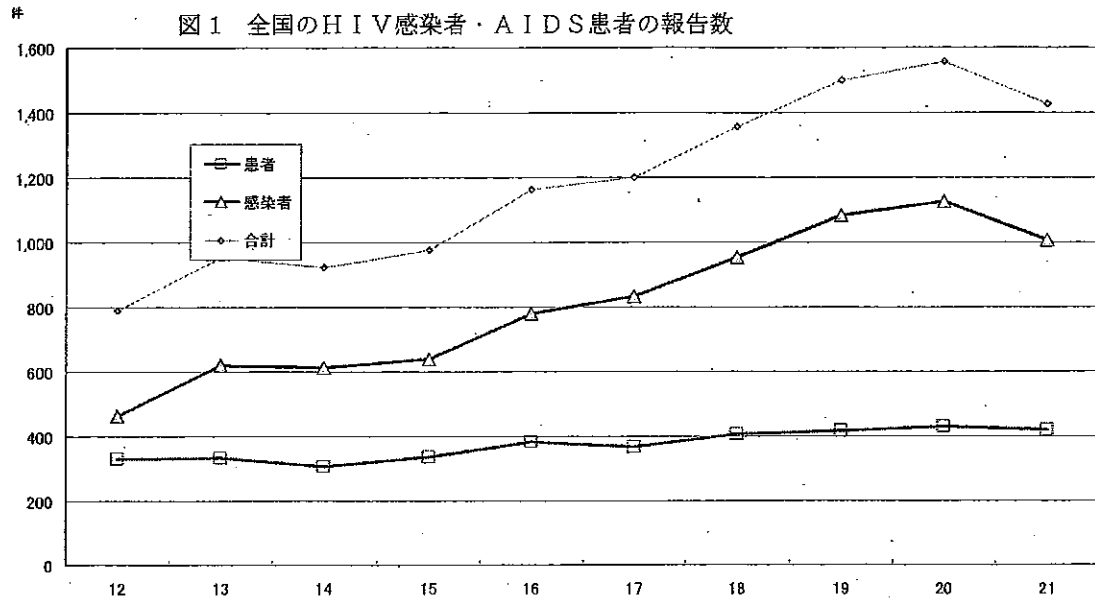


中国・四国ブロック内のエイズ発生動向の概要

1 HIV感染者・AIDS患者の報告数

中国・四国ブロック内のHIV感染者・AIDS患者の報告数は、全国の動向と同様に増加傾向にある（図1、図2）。



## 2 HIV感染者・AIDS患者の感染経路別内訳(中国四国ブロック H12～H21年報告例)

### (1) HIV感染者について

中国・四国ブロック内で平成12年から平成21年に報告されたHIV感染者の感染経路は、異性間の性的接触が81件(28.3%)、同性間の性的接触が172件(60.1%)と、性的接触によるものがあわせて253件(88.5%)と大半を占めている(図3)。

### (2) AIDS患者について

中国・四国ブロック内で平成17年から平成20年に報告されたAIDS患者の感染経路は、異性間の性的接触が47件(31.4%)、同性間の性的接触が62件(41.1%)と性的接触によるものがあわせて85件(31.1%)と多くを占めている(図4)。

図3 中国・四国ブロックのHIV感染者の感染経路別内訳

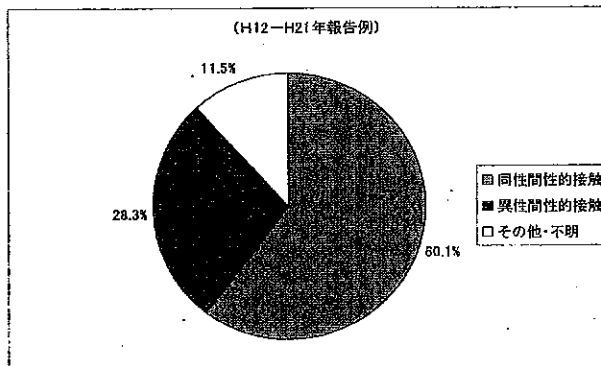
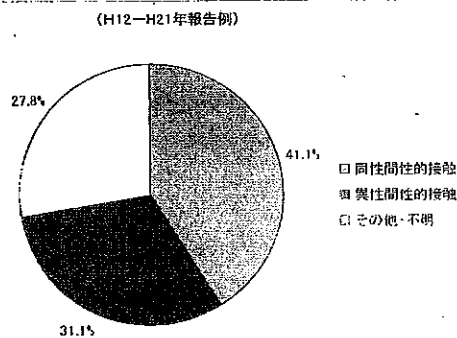


図4 中国・四国ブロックのAIDS患者の感染経路別内訳



## 3 都道府県別報告数について

平成20年の都道府県別の人口10万人あたりの報告数の上位10位には、広島県(HIV感染者9位0.84)が入っており、中国・四国ブロックでも高い感染状況を示している。

このため、診察における見逃し防止や行政の無料匿名検査による早期発見、行動変容を呼びかける普及啓発活動等の総合的な HIV/AIDS 対策の更なる推進が必要とされている。

なお、中国・四国ブロック各県の HIV 感染者・AIDS 患者の人口 10 万対の累積報告件数は、表 3 のとおりである。

自治体	2009報告数	自治体	人口10万対*
1 東京都	374	1 東京都	2.91
2 大阪府	171	2 大阪府	1.94
3 神奈川県	57	3 沖縄県	1.09
4 愛知県	54	4 広島県	0.84
5 福岡県	38	5 山梨県	0.80
6 千葉県	34	6 福岡県	0.75
7 兵庫県	31	7 愛知県	0.73
8 埼玉県	27	8 神奈川県	0.64
9 広島県	24	9 千葉県	0.56
10 北海道	23	10 兵庫県	0.55

表1 HIV感染者の上位自治体

自治体	2009報告数	自治体	人口10万対*
1 東京都	96	1 東京都	0.75
2 大阪府	62	2 大阪府	0.70
3 愛知県	32	3 奈良県	0.57
4 神奈川県	24	4 沖縄県	0.51
5 千葉県	19	5 滋賀県	0.50
6 福岡県	19	6 岐阜県	0.48
7 兵庫県	12	7 愛知県	0.43
8 北海道	11	8 栃木県	0.40
9 茨城県	10	9 熊本県	0.38
9 岐阜県	10	10 京都府	0.38
9 京都府	10		

表2 AIDS患者の上位自治体

	HIV感染者		AIDS患者	
全国	9,897	9.063	4	4,529
中国・四国ブロック	3,466	2.988	1.533	1,437
鳥取県	1,869	1.849	0.84	1,760
島根県	1,675	1.241	0.414	0,558
岡山県	3,496	2.926	1.951	2,519
広島県	4,894	4.252	1.568	1,888
山口県	3,101	2.597	0.684	0,427
徳島県	2,036	1.511	1.259	1,761
香川県	3,113	2.692	2.094	2,310
愛媛県	3,564	3.255	2.355	2,516
高知県	3,400	3.105	1.552	1,569

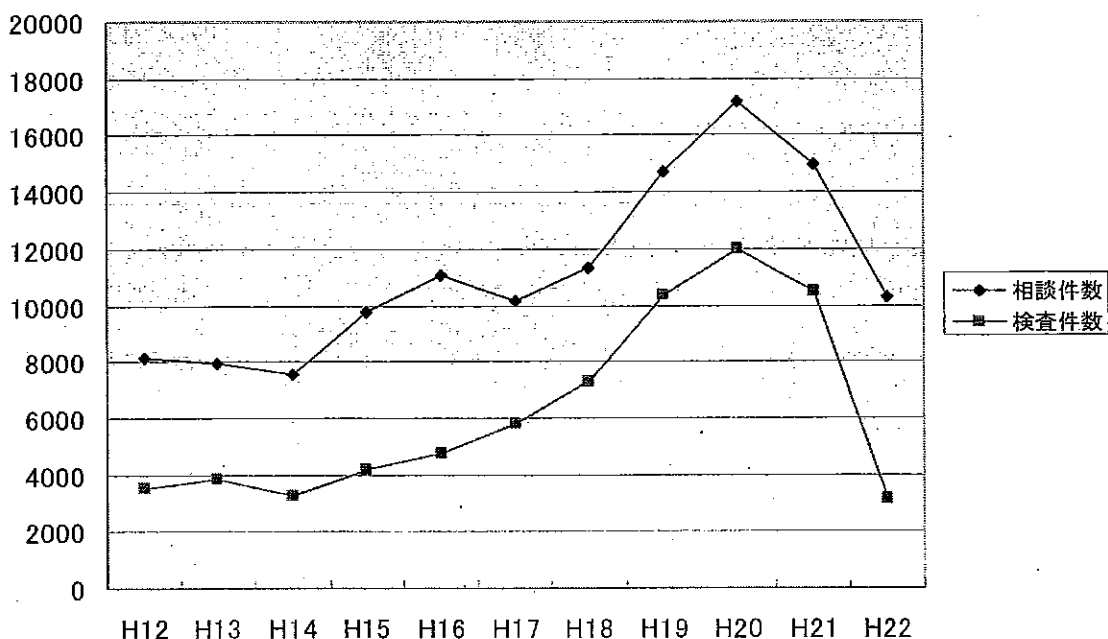
表3 中国・四国ブロックの人口 10 万対の累積報告件数

#### 4 無料匿名検査及び相談

中国・四国ブロック内の自治体における無料匿名 HIV 抗体検査件数, 相談件数とも, H20 年までは年々増加しているが, H21 年は, 減少している (図 5)。

平成 22 年は, ほとんどの自治体で検査・相談件数が前年同時期 (第 1 から第 3 四半期で比較) よりも減少しており, 中国・四国ブロック全体では, 相談件数は, H21 年で 11,343 件であったのが, H22 年では, 10,272 件 (表 4)。H I V 抗体検査件数は, H21 年で 8,142 件であったのが, H22 年では, 6,137 件 (表 5) と減少している。

このため, 保健所等における H I V 抗体検査・相談を引き続き推進, 周知する等の取り組みが必要である。



(H22 年は, 9 月末までのデータ)

図 5 中国・四国ブロックの HIV 抗体検査・相談件数の年次

	H21 第 1～3 四半期*	H22 第 1～3 四半期*
鳥取県	99	28
島根県	336	321
岡山県	1380	2049
広島県	5293	4455
山口県	574	685
徳島県	863	714
香川県	1269	866
愛媛県	1397	1080
高知県	132	74
計	11343	10272

\*第 1～第 3 四半期とは, 1 月から 9 月のこと

表 4 中国・四国ブロックの相談件数

(H21 と H22 の比較)

	H21 第 1～第 3 四半期	H22 第 1～第 3 四半期*
鳥取県	621	451
島根県	313	249
岡山県	804	763
広島県	2,629	1,885
山口県	952	731
徳島県	730	566
香川県	476	302
愛媛県	1,052	806
高知県	565	384
計	8,142	6,137

\*第 1～第 3 四半期とは, 1 月から 9 月のこと

表 5 中国・四国ブロックの HIV 抗体検査件数

(H21 と H22 の比較)